

クラス通信

麻生本校・円山校

クラスユニック小学部

令和4年9月号

2022.9.15発行

保護者の皆様へ 副理事長・校医 福島 拓

クラス通信9月号は例年、札幌の中高一貫校の難易度をまとめております。私立中学では相変わらず、北嶺・立命館SP・札幌日大SAが人気・難易度で一線を画しており、それを立命館一貫・札幌日大普通・札幌光星が追っている構図です。四谷大塚の偏差値と道コンの偏差値に乖離が見られるのがわかるかと思いますが、これは、それぞれの偏差値の意味が異なることと問題難易度が異なるからです。四谷大塚の偏差値は入試問題における合格率80%の偏差値（大学受験におけるA判定）で、道コンの偏差値はあくまで標準問題に対する道内合格者の平均偏差値です。入試合格判定には四谷大塚の偏差値も重要ですが、北海道内における学力位置や志望動向を知るには道コン偏差値も参考になります。

昨年と比較してみると、女子校は聖心女子の募集停止によるものと思われる影響でいずれも3-4程度上昇があります。それ以外の中学については、四谷大塚のSSでは大きく変更はありませんが、道コンのSSではほぼ全ての学校で2-3程度低下しています。全体の志望者動向の変化があるのかもしれないので秋の志願者状況を注視する必要があるようです。

中学入試について 一小4・小5・小6生に向けて

文責:円山校 井尾 敦

暑かった夏もここへきてようやく落ち着いた日々となりました。しかし暑いことはエネルギー、中学受験を目指す皆さんは、学校の夏休み期間もそれなりに、暑さに負けず頑張ったのではないのでしょうか。

さて、今回は来春早々に始まる中学入試で、この秋からより具体的に知っておきたいこと、「一体どの中学がどの位の力（学力レベル）を備えたら受験に間に合うのか、準備として必要なのか」、受験したい中学校の状況を知って、今だからこそ十分準備ができることと思います。

下記の一覧表を参考にして下さい。

☆受験をして入学する中学校（札幌近郊）のSS目安

中学校名	道コンSS	四谷大塚SS
北嶺中学校	66.2	55.0※
立命館慶祥中学校（SP）	63.7	56.0
札幌日本大学中学校（SA）	63.2	54.0
北海道教育大附属札幌中学校	60.3	50.0
立命館慶祥中学校（一貫）	59.3	48.0
市立札幌開成中等教育学校	57.8	51.0
札幌光星中学校	56.9	47.0
札幌日本大学中学校（A）	56.3	49.0
札幌大谷中学校（英数選抜・医進選抜）	54.8	40.0
藤女子中学校	52.7	40.0
北星学園女子中学校	47.4	36.0

※北嶺中学校の偏差値は、あくまで本校（札幌）受験での偏差値です。東京や大阪会場だとSS58、青雲寮コースはSS60となり、また特待はSS68と大きく変わります。

<裏面に続く>

☆前出のSS表が受験校のすべてではありません



あくまで偏差値は目安です。この偏差値をもった生徒が入学してその後の6年間、勉強の伸びや受験大学への実際に必ずしも連動しているわけではないからです。オープンスクールなどで学校の様子を見て、校風がお子さまと合うと感じられる学校があれば受験をお勧めします。

入学してから学校によっては何度か定期試験の結果などでクラスチェンジがあることも入学時（受験時）大事なポイントです。学内のレベルの中で関門が用意されているということです。入学してからの努力で大学受験までに力をつけていくよう、どの学校も工夫を凝らした授業展開をしています。意外と思われるかもしれませんが、トップ入学者がトップで卒業することはほぼないのが実情のようです。過去にも、中学受験時何とかやっと入学できたというような生徒が、卒業時には上位にいて、当時の第一志望大学に合格を果たしたという事例は当校でも多々あります。中学入試がゴールではなく、継続した努力がやはり必要であると言えます。

一方中学受験を目指す場合、入試問題には、学校の学習だけでは解けない問題もあり、「中学受験」向けに特化した受験準備が必須です。いわゆる「私立中学受験型」の学習です。受験準備としては、最低限2年は必要です。結果として公立の中学に進むとしても、考える力を養い、受験準備のために早めに学習を進めておくことは、小4、小5年生という人生の中でも一番能力の発達する年代には意識向上や能力アップにつながり良い結果をもたらします。

当校での学習も日常学習としてこの「受験も意識した学習」を推進しています。

2学期からの目標は？ 学習への習慣付け



○ 小学1～3年生では現在国語と算数の基本を身に付ける学習を行っています。

使用教材は「コア」「ウインパス」「はなまる」で、一人ひとりを丁寧に進めています。

1～3年生の期間は、学校での授業をきちんと聞いてその場でわかる（理解できる）ことを主眼に、当校（塾）での学習は学力の幅を広げるものとして毎回（週1回又は2回）の授業を大切に受講して下さい。毎回の中で進んだ内容に見合った宿題を出しています。宿題の位置づけは、毎日の「学習習慣」ということですが、こどもは「毎日少しずつ」というのを苦手とします。4年生、或いはそれ以上になると「やらなければならぬことは多少嫌でもやる」というようになるはずですが、1年～3年生はそうなるまで少しずつ習慣づけの予備軍として進めていきます。

○ 小4～6年生は四谷大塚「予習シリーズ」クラス授業&個人指導を行っています。

四谷については前述の「中学受験」を目指すことを目標に、麻生校では清水先生のクラス授業です。

個人指導は一人ひとりに合わせて、漢字力の強化・英語・国語・算数・理科・社会の先取り学習を行っています。4年生以上になると学習への取り組みも積極的になり、集団、個人を問わず熱心な雰囲気の中で進んでいます。

麻生本校:001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校 :064-0820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755



麻生本校 小中学部



円山校 小学部



9月、10月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。